

各診療科の臨床研修プログラム

【必須科目】

内 科

●内科研修の特徴

研修の必修期間は 24 週以上とし、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、内分泌・代謝内科、腎・膠原病内科および血液内科において基本的な研修を行う。なお、各専門分野が掲げる研修内容は、「臨床研修制度」における「経験すべき症候」と「経験すべき疾病・病態」を中心に行うこととする。

●一般目標（GIO）

医師としての人格を育成し、将来の専門性にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する疾患や病態に適切に対応できるようになるために、プライマリーケア・救急医療の基盤となる基本的な内科的診療能力（態度、技能、知識）を習得するとともに、患者さんとの間の信頼関係を保ちながら人間を中心に考える医療を実践するための基本的態度を身につける。

●行動目標（SBOs）

- ・ 患者および家族との信頼関係を確立することができる。
- ・ 他職種を含めたチーム医療を理解し、その中で指導医、上級医とともに医師としての役割を果たすことができる。
- ・ 頻度の高い内科系疾患の病態生理を理解できる。
- ・ 問診・身体診察を含む非観血的診断スキルを身につけ、総合的診断能力を養う。
- ・ 一般的な内科系疾患の特徴をよく理解し、治療に必要な薬剤が及ぼす作用に関しても理解する。
- ・ 内科診療および治療に必要な知識・技術を習得し、救急医療でも求められる迅速な判断・対応を身につける。
- ・ EBM に基づく医療を行うための情報収集・技術講習を通じ、積極的に自己啓発に努めることができる。
- ・ 地域中核病院にて診療に従事する重要性を理解・自覚し、地域チーム医療としての病院連携を図ることができる
- ・

●方略と評価

各診療科のプログラムに詳記